

# 系統空容量マップ<sup>○</sup> (220kV以上)

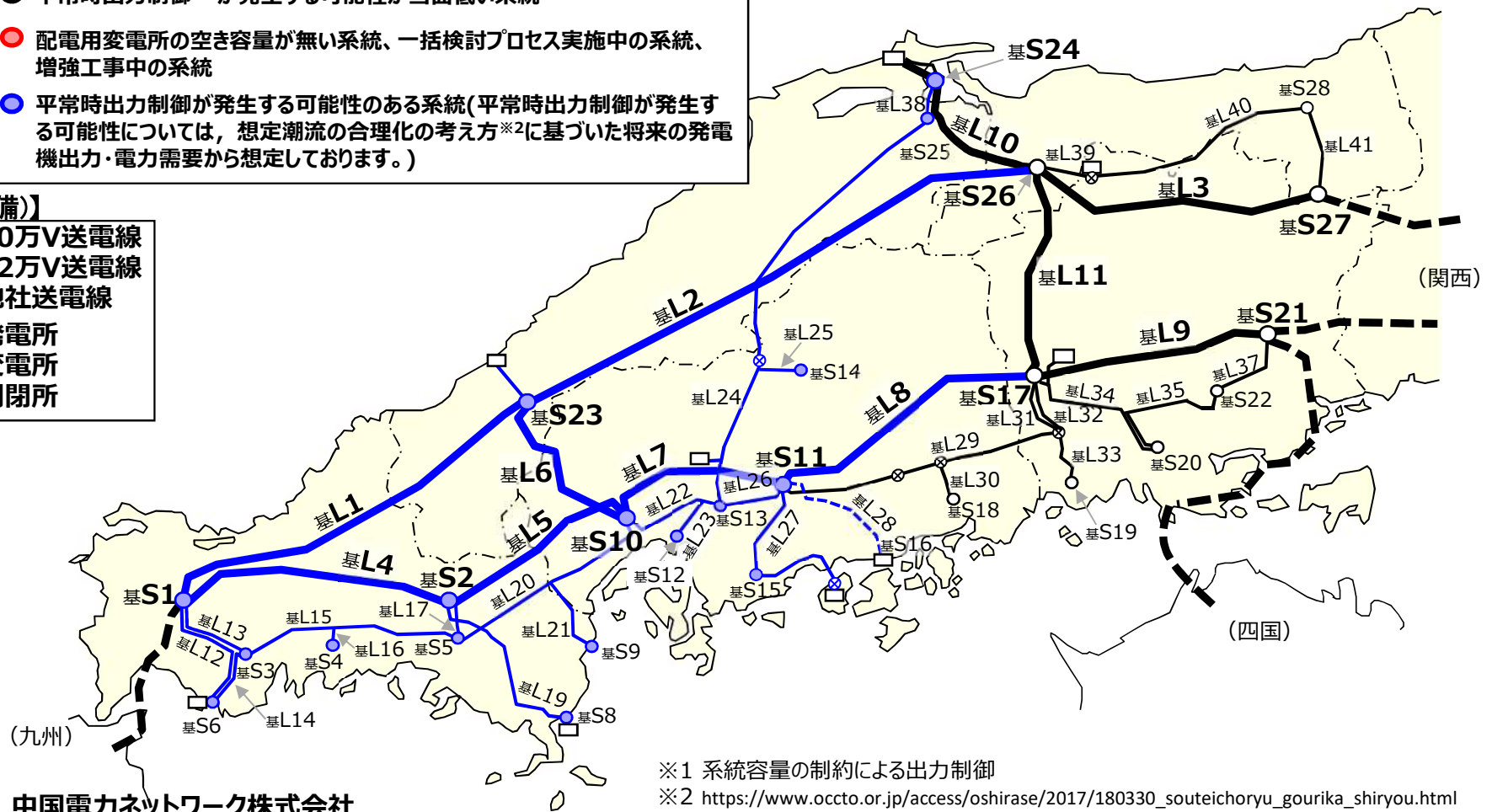
- 空容量は目安であり、系統接続の前には接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。
- 申込み状況により空容量は変化するため、申込み時点において空容量が減少している可能性があります。
- 原則として熱容量を考慮した空容量を記載しておりますが、その他の要因（電圧や系統安定度など）で制約が発生する設備については、それを考慮した空容量を記載しております。
- 系統連系に必要な事項は、接続検討をお申込み頂くことで、検討を行い回答いたします。
- 3年以内に増強した系統へ連系する場合は、空容量の範囲内であっても増強工事費の一部を負担いただくことがあります。

## 【凡例(空容量)】

- ○ 平常時出力制御<sup>※1</sup>が発生する可能性が当面低い系統
- ● 配電用変電所の空き容量が無い系統、一括検討プロセス実施中の系統、増強工事中の系統
- ● 平常時出力制御が発生する可能性のある系統(平常時出力制御が発生する可能性については、想定潮流の合理化の考え方<sup>※2</sup>に基づいた将来の発電機出力・電力需要から想定しております。)

## 【凡例(設備)】

- 50万V送電線
- 22万V送電線
- - - 他社送電線
- 発電所
- 変電所
- ⊗ 開閉所



※1 系統容量の制約による出力制御

※2 [https://www.occto.or.jp/access/oshirase/2017/180330\\_souteichoryu\\_gourika\\_shiryou.html](https://www.occto.or.jp/access/oshirase/2017/180330_souteichoryu_gourika_shiryou.html)

【留意事項】

- (1) 運用容量値は、電圧や系統安定度などの制約により、変わる場合があります。備考欄をご参照願います。
  - ※1 1回線(1バンク)故障時の電源抑制や系統切替を前提に時間を限定して使用できる設計上の熱容量を考慮
  - ※2 ループ系統構成(電源線を含む)を考慮
- (2) 空容量は目安であり、系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、空容量が変更となる場合があります。
- (3) 原則として熱容量を考慮した空容量を記載しておりますが、その他の要因(電圧や系統安定度など)で制約が発生する設備については、それを考慮した空容量を記載しております。
- (4) N-1電制適用可否欄には、熱容量制約の解消を目的とした当該設備へのN-1電制の適用可否の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可否が変更となる場合があります。適用不可の場合の理由は以下のとおりです。
  - ※1 基幹ループ系統のため
- (5) N-1電制適用可能量欄には、熱容量制約の解消のため当該設備にN-1電制を適用した場合の適用可能量(上位系考慮なし)の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可能量が変更となる場合があります。
- (6) 発電設備等が連系する変圧器によっては、別途バンク逆潮流対策が必要になる可能性があります。
- (7) 3年以内に増強した系統へ連系する場合は、空容量の範囲内であっても、増強工事費の一部を負担いただくことがあります。
- (8) 社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給契約が特定できるような第三者情報などについては、公開しておりません。
- (9) 個々の電源の運転状況や需要者の電力使用状況が推測可能な電源線や専用線等であり、設備容量、運用容量、N-1電制可否、N-1電制可能量を非公開とする設備は、備考欄に「◇」を記載しております。
- (10) 平常時出力制御が必要となる設備欄は、平常時出力制御が発生する可能性について、想定潮流の合理化の考え方※に基づいた将来の発電機出力・電力需要から想定し、該当設備を記載しております。
  - ※[https://www.occto.or.jp/access/oshirase/2017/180330\\_souteichoryu\\_gourika\\_shiryou.html](https://www.occto.or.jp/access/oshirase/2017/180330_souteichoryu_gourika_shiryou.html)
- (11) 2次の電圧が6kV以下の変圧器で配電系統として扱う設備には備考欄に「※5」を記載しております。
- (12) 電源線に新規電源が連系する際、系統増強が必要になる場合があります。詳細については、接続検討の中でお示しします。
  - ※電力広域的運営推進機関が公表している「系統の接続および利用ルールについて～ノンファーム接続～」でも、新規電源連系時のアクセス線等の取扱いが整理されております。  
<https://www.occto.or.jp/grid/business/setsuzoku.html#non-firm>

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量 (MW)	平常時出力制御の可能性	平常時出力制御が必要となる設備		備考
							当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系設備	
-	Aフェンス(基L1+基L4+基L15)	500	-	-	4,260	同期安定性	122	0	不可 #1	-	有り	-	Cフェンス,Dフェンス	
-	Bフェンス(基L1+基L5)	500	-	-	5,340	同期安定性	333	0	不可 #1	-	有り	-	Cフェンス,Dフェンス	
-	Cフェンス(基L2+基L7-基L26)	500	-	-	5,980	同期安定性	0	0	不可 #1	-	有り	対象	Dフェンス	
-	Dフェンス(基L2+基L8)	500	-	-	6,130	同期安定性	0	0	不可 #1	-	有り	対象	-	
基L1	中国西幹線	500	2	6,580	-	熱容量	-	-	-	-	-	-	-	
基L2	中国中幹線	500	2	9,872	-	熱容量	-	-	-	-	-	-	-	
基L3	中国東幹線	500	2	6,580	-	熱容量	-	-	-	-	-	-	-	
基L4	新山口幹線	500	2	6,580	-	熱容量	-	-	-	-	-	-	-	
基L5	東山口幹線	500	2	6,580	-	熱容量	-	-	-	-	-	-	-	
基L6	西島根幹線	500	2	9,872	-	熱容量	-	-	-	-	-	-	-	
基L7	新西広島幹線	500	2	6,580	-	熱容量	-	-	-	-	-	-	-	
基L8	新広島幹線	500	2	6,580	-	熱容量	-	-	-	-	-	-	-	
基L9	新岡山幹線	500	2	6,580	-	熱容量	-	-	-	-	-	-	-	
基L10	北松江幹線	500	2	6,580	3,290	熱容量	940	940	可	478	-	-	-	
基L11	日野幹線	500	2	6,580	-	熱容量	-	-	-	-	-	-	-	
基L12	新小野田火力連絡線	220	1	-	-	熱容量	-	-	-	-	-	-	-	
基L13	新山口連絡線	220	1	-	-	熱容量	0	0	-	-	有り	対象	Cフェンス,Dフェンス 基L15,基S1-1	◇
基L14	新小野田火力山口線	220	1	-	-	熱容量	-	-	-	-	-	-	-	
基L15	山口幹線	220	2	612	487	熱容量	0	0	可	71	有り	対象	Cフェンス,Dフェンス,基L12 基L13,基L14,基S1-1	※2
基L16	南山口支線	220	2	976	539	熱容量	470	0	可	435	有り	-	Cフェンス,Dフェンス,基L12 基L13,基L14,基S1-1	※2
基L17	東山口連絡線	220	2	1,954	1,051	熱容量	0	0	可	500	有り	-	Cフェンス,Dフェンス,基L12 基L13,基L14,基S1-1	※2
基L19	柳井火力連絡線	220	2	-	-	熱容量	0	0	-	-	有り	対象	Cフェンス,Dフェンス,基L12 基L13,基L14,基S1-1	◇
基L20	新徳山幹線	220	2	612	378	熱容量	330	0	可	169	有り	-	Cフェンス,Dフェンス	※2
基L21	新岩国連絡線	220	2	612	378	熱容量	330	0	可	169	有り	-	Cフェンス,Dフェンス	※2
基L22	広島西幹線	220	2	612	411	熱容量	0	0	可	172	有り	対象	Cフェンス,Dフェンス	※2
基L23	広島中央線	220	2	1,140	570	熱容量	660	0	可	500	有り	-	Cフェンス,Dフェンス	
基L24	山陰幹線	220	2	976	488	熱容量	0	0	可	453	有り	対象	Cフェンス,Dフェンス,基L22	
基L25	作木支線	220	2	612	306	熱容量	0	0	可	89	有り	対象	Cフェンス,Dフェンス,基L22,基L24	
基L26	新広島連絡線	220	2	1,954	1,132	熱容量	495	0	可	472	有り	対象	Dフェンス,基L22	※2
基L27	黒瀬幹線	220	2	2,470	1,306	熱容量	1010	0	可	500	有り	-	Dフェンス,基L22	※2
基L28	新竹原火力線	220	2	-	-	熱容量	他社設備のため別途確認が必要	-	-	-	-	-	-	◇
基L29	広島東幹線	220	2	1,446	854	熱容量	550	550	可	500	-	-	-	※2
基L30	北尾道支線	220	2	1,446	854	熱容量	550	550	可	500	-	-	-	※2
基L31	新岡山連絡線	220	2	1,954	1,496	熱容量	1,205	945	可	458	-	-	-	※2
基L32	井原連絡線	220	2	1,954	1,462	熱容量	1,150	945	可	492	-	-	-	※2
基L33	笠岡幹線	220	2	1,310	718	熱容量	420	420	可	500	-	-	-	※2
基L34	新倉敷連絡線	220	2	1,954	1,272	熱容量	950	315	可	497	-	-	-	※2
基L35	岡山幹線	220	2	612	517	熱容量	110	110	可	92	-	-	-	※1, 2
基L37	東岡山連絡線	220	2	1,310	805	熱容量	385	385	可	496	-	-	-	※2
基L38	松江連絡線	220	2	1,534	792	熱容量	670	0	可	484	有り	-	基S24-1	※2
基L39	俣野川線	220	2	-	-	熱容量	535	510	-	-	-	-	-	◇
基L40	新鳥取線	220	2	-	-	熱容量	895	360	-	-	-	-	-	◇
基L41	新鳥取連絡線	220	2	868	522	熱容量	205	205	可	332	-	-	-	※2

変電所 No	変電所名	電圧 (kV)		台数	設備容量 (100%×台数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量 (MW)	平常時出力制御の可能性	平常時出力制御が必要となる設備		備考
		一次	二次					当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系設備	
基S1-1	新山口変電所	500	220	2	1,900	1,235	熱容量	0	0	可	383	有り	対象	Cフェンス,Dフェンス,基L15	※1
基S1-2	新山口変電所	220	110	2	760	456	熱容量	0	0	可	295	有り	対象	Cフェンス,Dフェンス 基L15,基S1-1	※1
基S2	東山口変電所	500	220	3	2,850	2,560	熱容量	95	0	可	262	有り	-	Cフェンス,Dフェンス,基L12 基L13,基L14,基S1-1	※1
基S3	山口変電所	220	110	3	855	733	熱容量	150	0	可	122	有り	-	Cフェンス,Dフェンス,基L12,基L13 基L14,基L15,基S1-1	※1, 2
基S4	南山口変電所	220	110	1	285	256	熱容量	190	0	可	27	有り	-	Cフェンス,Dフェンス,基L12,基L13 基L14,基L19,基S1-1,基S5	※1, 2
基S5	新徳山変電所	220	110	2	570	483	熱容量	0	0	可	8	有り	対象	Cフェンス,Dフェンス,基L12,基L13 基L14,基L19,基S1-1	※1, 2
基S6	新小野田変電所	220	110	1	-	-	熱容量	150	0	-	-	有り	-	Cフェンス,Dフェンス,基L12,基L13 基L14,基L15,基S1-1	◇
基S8	柳井火力変電所	220	110	1	-	-	熱容量	175	0	-	-	有り	-	Cフェンス,Dフェンス,基L12,基L13 基L14,基L19,基S1-1,基S5	◇
基S9	新岩国変電所	220	110	2	570	408	熱容量	325	0	可	97	有り	-	Cフェンス,Dフェンス	※1, 2
基S10-1	新西広島変電所	500	220	2	1,900	1,345	熱容量	1,020	0	可	411	有り	-	Cフェンス,Dフェンス	※1, 2
基S10-2	新西広島変電所	220	110	3	855	738	熱容量	625	0	可	65	有り	-	Cフェンス,Dフェンス	※1, 2
基S11	新広島変電所	500	220	2	1,900	1,357	熱容量	295	0	可	472	有り	-	Dフェンス,基L22	※1, 2
基S12	広島中央変電所	220	110	2	570	307	熱容量	395	0	可	263	有り	-	Cフェンス,Dフェンス	※1
基S13	広島変電所	220	110	4	1,140	1,026	熱容量	850	0	可	103	有り	-	Cフェンス,Dフェンス,基L22	※1, 2
基S14	作木変電所	220	110	3	570	456	熱容量	0	0	可	47	有り	対象	Cフェンス,Dフェンス,基L22 基L24,基L25	※1
基S15	黒瀬変電所	220	110	3	855	730	熱容量	575	0	可	125	有り	-	Dフェンス,基L22	※1, 2
基S16	新岡山変電所	220	110	2	-	-	熱容量	他社設備のため別途確認が必要	-	-	-	-	-	-	◇
基S17	新岡山変電所	500	220	3	2,850	2,375	熱容量	1,460	945	可	472	-	-	-	※1, 2
基S18	北尾道変電所	220	110	3	855	739	熱容量	435	435	可	116	-	-	-	※1, 2
基S19	笠岡変電所	220	110	3	855	635	熱容量	310	310	可	220	-	-	-	※2
基S20	新倉敷変電所	220	110	4	1,140	1,026	熱容量	730	315	可	114	-	-	-	※1, 2
基S21-1	東岡山変電所	500	220	1	950	855	熱容量	435	435	可	91	-	-	-	※1, 2
基S21-2	東岡山変電所	500	110	2	1,425	834	熱容量	70	70	可	497	-	-	-	※2
基S22	岡山変電所	220	110	3	950	745	熱容量	215	215	可	199	-	-	-	※1, 2
基S23-1	西島根変電所	500	220	3	2,850	2,560	熱容量	340	0	可	247	有り	-	Cフェンス,Dフェンス	※1
基S23-2	西島根変電所	220	110	2	475	279	熱容量	0	0	可	144	有り	対象	Cフェンス,Dフェンス	※1
基S24-1	北松江変電所	500	220	2	1,900	950	熱容量	0	0	可	500	有り	対象	-	
基S24-2	北松江変電所	220	110	2	380	277	熱容量	195	0	可	97	有り	-	基S24-1	※2
基S25	松江変電所	220	110	2	570	424	熱容量	300	0	可	130	有り	-	基S24-1	※1, 2
基S26-1	日野変電所	500	220	2	1,900	1,261	熱容量	435	435	可	490	-	-	-	※1, 2
基S26-2	日野変電所	220	110	2	570	335	熱容量	190	190	可	223	-	-	-	※1
基S27	智頭変電所	500	220	1	950	855	熱容量	540	540	可	81	-	-	-	※1, 2
基S28	新鳥取変電所	220	110	3	712	568	熱容量	165	165	可	120	-	-	-	※1

【留意事項】

- ・フェンス箇所については、500kV系統をループ系統で運用しているため、ループ系統における2回線故障(ルート断)に伴う健全ルートへの潮流の回り込みを考慮したフェンス潮流で空容量を管理しています。
- ・基L3、基L9については、電力広域的運営推進機関が公表している関西中国間連系線の空容量をご参照ください。
- ・基L6、基L11については、500kV系統はループ系統で運用しており、フェンス潮流に影響されるため、個別の接続検討の際に回答します。